

【教育目標】 学びをつなぎ 心ゆたかに生きる

【学年・学級経営】 子どもが主役の教育活動

- ・ 目指す子どもの姿を明確に示し、日々の指導に関連づけた教育実践
- ・ 子どもが「自分の力でやった、できた」という満足感や感動体験の実践
- ・ 子どもに耳・目・心を傾け、ともに活動し感動する教師

【知】

主体的に学習に取り組む子

【重点目標】

自分の考えを表現できる子

確かな学力を身に付けさせる教育の推進

- 1 「わかった」「できた」を実感できる授業、基礎的・基本的内容を着実に身に付ける指導の工夫。
- 2 家庭学習の推進。
- 3 地域の自然や文化、産業を活用した学習活動を年間1回以上実施。

【成果目標】

- 1 ① 校内研究に基づいて授業研究を年1回以上実施する。
- ② NRT標準偏差値の平均値を52以上にする。
- ③ ワークテストで全国平均を上回る児童が70%以上。
- ④ Web問題への計画的取組 県平均を半数以上上回る学級 A: 8学級以上 B: 7~5
- 2 学年×10分以上の家庭学習をする児童が80%以上。
- 3 地域の人、もの、ことに関心を持ち、自ら課題を決めて調べることができる児童が80%以上。

【徳】

相手のことを考えて協力できる子

温かいメッセージを伝え合う子

思いやり・感謝の心を育てる教育の推進

- 1 生活目標の継続的な指導と年2回のあいさつ運動の実施。
- 2 好ましい人間関係を築く「ほたる班活動」の毎月実施。
- 3 「認め合う」活動を学級で実施。
- 4 子どもと向き合う教育相談を年2回実施。

- 1 ① 「進んであいさつができた子」の自己評価のA評価が85%以上。(B: 75~84%)
- ② 「家庭であいさつを交わしている」と保護者が評価するA評価が85%以上。(B: 75~84%)
- 2 温かいメッセージを伝えることができたと答える児童の肯定的自己評価が85%以上。(B: 75~84%)
- 3 学習、ほたる班活動、掃除などでメンバーと協力できたとの肯定的自己評価が85%以上。(B: 75~84%)
- 4 いじめや新たな不登校を見逃さない。
A: いじめ、不登校0
B: いじめ、不登校1~2
C: いじめ、不登校3以上

【体】

体を大切にし 運動を続ける子

健康な体をつくる子

健康や体力の向上を図る教育の推進

- 1 シーズンを通じた体力づくりを考えた授業や遊びを通じた運動能力向上の実践。
- 2 長い時間力を出し続ける運動や体幹トレーニングを取り入れた体育授業の実施。
- 3 健康な生活リズムを形成することの大切さを知らせる「生活リズムを整えよう週間」を年3回実施。

- 1 体力テストのシャトルランと立ち幅跳びの記録で、前の学年より向上した児童の割合を60%以上にする。(B: 50~59%)
- 2 ① 「決まった時刻に寝ている」と答える児童の肯定的評価が70%以上。(B: 50~69%)
- ② 「決まった時刻に寝ている」と答える保護者の肯定的評価が70%以上。(B: 50~69%)



【保護者・地域との連携】

- ・ 保護者、評議員、統合で広がった地域との連携(誠意をもって対応)
- ・ 地域教材の開発と実践(計画、実践、評価)
- ・ 保・幼・中との積極的連携

【特別支援教育の充実】

- ・ 交流学級での授業の推進
- ・ 個別の支援計画に基づく指導
- ・ 全校体制による個のニーズに応じたきめ細やかな支援

【安全対策の推進】

- ・ 学校内外での関係機関との連携
- ・ 登下校の安全管理と事故防止の指導(交通安全教室、街頭指導不審者対応避難訓練の実施)